

の影響には限度があるのであるから物價安定機構については何事も考へず當座だけの近視的泥縄的な方策を以て後のことは構はないといふのでは今の經濟情勢に對してはもう政治だとは言へない。奨励金は必ず他の奨励金を呼ぶ。さらだに稀有の景氣の炭坑地は更にインフレの氣勢を加へるだらうと他方では中小工業や商人が先行きの暗きに悩んでゐる。き明暗凹凸は更に深まる一方であるを見る。デフレ的方向を考へてゐるとすらいふ櫻内蔵相はこの問題に如何に對處するか。暫く見守りたい。

△其他「内閣の責任」(都)

本日の新聞概観

第百四十四號 内閣情報部報道班二・一(木)

△概観

休會中の議會は愈々本日再會されるが各紙何れも議院關係をトップに、淺間丸事件で有田クレイギー會談の好轉空氣が傳へられ、電力調整令の發動等が重要課題であつた。「報知」及び「國民」に購讀料値上げの社告がある。

△國內關係

一、第七十五議會けふ再開

「朝日」は經濟問題で論戰開始とし各派代表の第一日の質問要旨を掲げ、「報知」は政情樂觀を許さずとし、其の他外交、經濟問題で論戰展開としてゐる。

二、電力問題

イ、電力調整令發動の告示は二月三日、十日實施に決定

ロ、石炭緊急對策けふ協議

ハ、石炭増産根本策、資材勞力配給優先に商工省決定(讀賣)

ニ、石炭強制融通、久原派要望

ホ、石炭積極増産へ、中島派の電力對策

ハ、電力調整令發動の反響

重工業界―賛意を表し、石炭徴發を寧ろ重視

財界―今後の成行き注視

關西産業界―配電順位の公平、平和産業に考慮の要

ト、石炭徴發に對する業界の意向

値上げ以外途なし、徴發令對象から鐵鋼除外せよ

三、物價委員會改組の企畫院案けふ閣議へ

四、其他「石炭共販會社設立要綱成る」、「海運統制令施行」

「米穀應急措置法改正、今議會に提出」、「精動改革案審議進む（讀賣）」等

△對外關係

一、淺間丸事件其後

イ、英首相法理論放棄を表明（ロンドン同盟）

英首相は三十一日午後戰時弘報協議會（ナショナル・デフエンス・パブリシティ・コミ
テイ）午餐會席上特に淺間丸事件に言及し淺間丸臨檢が日本政府若くは國民の感情を無
視したかの感じを與へたことすれば遺憾であるとし、法理論に固執しないことを述べた。

ロ、東京會談續行（三十一日有田クレーギー第三次會談）

三十一日夕刻クレーギー大使は更に有田外相を訪問して會談したが獨人引渡し要求を中
心に相當交渉が行はれた模様

外務省情報部長談要點……有田外相は三十一日午後五時十五分英大使を招致三十日會談に
關聯し淺間丸事件を更に政治的考慮より約一時間に亘り討議を重ねた。二月一日續行の豫
定。帝國政府の回答公文は一兩日中に手交するがその上間もなく日英双方の公文が同時に
發表されることとなるであらう。

（ハ）獨人引渡し可能性漸次薄化（ロンドン讀賣）

一、對日禁輸案審議に政府の發言要求（ワシントン同盟）

ジョンソン共和黨上院議員はハル長官の對日禁輸案に對する發言を求め、又ハリソン民主黨
上院議員は禁輸案を急速に成立せしめねばならぬ根拠はないと述べ。

二、日羅間に通商協定（朝日）

ルーマニアは日本よりの輸入に對し殆ど爲替許可を與へずゐたが町田駐羅公使の交渉の
結果、日本が同國生産品を輸入する場合には日本品の輸入に對しても爲替許可を與へる
様措置を講ずるとの協定が成立した。

△東亞關係

一、南寧狙ふ敵軍包圍、一大決戰展開、南支軍發表（廣東同盟）

二、南寧奪回の企圖覆滅、南支軍報道部長談（南寧同盟）

三、滿洲國開拓團法要綱成る（新京日）

四、滿獨貿易近く新交渉（新京同盟）

滿獨貿易協定は五月末満期となるので三十日ワグネル公使と田代滿洲國外務局長との間に協定更新交渉開始の打合せを行つた。正式公式開始は二月下旬乃至三月上旬。

五、重慶、米の態度失望（香港同盟）

一月付夕刊

△國內關係

一、電力對策

イ、電力調整令十日發動に閣議決定

政府は本日閣議で電力飢饉對策として電力調整令の發動に決定、二月一日付遞信省告示が公布され十日から實施される。適用區域、制限率の決定は遞信省に一任さる。

ロ、電力制限に關する遞信省決定

右適用區域は關東、關西、中國、四國の全地域、制限率は廿日迄關東三割、關西三割五分、

廿日からは關東關西二割に緩和の方針

ハ、石炭徵發令も考慮、十萬噸確保を目標

ニ、石炭増産獎勵令、關係當局考究に決定

ホ、勝源相談、廿日迄出炭に全力、已むなくは強權發動

ヘ、藤原商相談、石炭徵發令、強制配給も考慮

三、町田總裁演説（民政黨大會）、國民の協力を求め内外の時艱突破

三、其他安部委員長挨拶（社大代議士會）、安達總裁演説（同盟議員總會）がある。

四、商工省機械局整備生産機械課を新設、一般機械課を總務局に

五、紀元の佳節に恩赦奏請せん

△對外國關係

一、淺間丸事件

イ、今夕外相英大使第三次會見せん

廿日の第二次會見後英大使は本國へ請訓してをり廿一日の第三次會談の動向は英政府の回訓如何に決定さるべく交渉の將來を卜するものとして注目さる。

ロ、重光、英外相會談、急速解決を督促（ロンドン朝日）

ニ、伊代表、我が在歐大公使會談（ブタベスト朝日）

日本側は事務上の打合せ稱してゐるが、伊側は日伊關係緊密化を強調す

三、對日禁輸案審議持越か、ハル長官反對不啻（ワシントン讀賣）

△歐米關係

一、十千七周年記念日のヒ總統演説、英佛を攻撃（ベルリン同盟、特電）

ヒトラー總統はナチス政權獲得七周年記念日たる廿日ベルリンのシユボルト・バラストに於て演説し、英佛の戰爭目的に一矢を酬ひ佛に對し斷乎決意を表明した。

- 二、虚言の羅列と英官邊一蹴（ロンドン同盟）
 - 三、米海軍長官十三億弗案を固執、擴張案削減反対（ワシントン同盟）
- △東亞關係

- 一、上海で外務現地會議開催（上海同盟）
- 二、重慶、對伊報復に大使館閉鎖示唆（上海同盟）
- 三、滿洲國、伊から機械類輸入（新京同盟）

朝刊論説題目

- 「朝日」 再開議會と政黨、獎勵金制に慎重を望む
- 「日日」 議會再開と各派の態度、電力調整令の發動
- 「讀賣」 米内内閣と議會の活用、政黨に對する國民の期待
- 「中外」 議會再開と國民の要望
- 「報知」 建設的言論を望む
- 「國民」 第七十五議會の展望
- 「都」 議會の開幕、時には波瀾、政黨の試験、安定を望む、内閣の責任

内閣情報部三三 情報第一號

重慶UP新聞電報放送（一月三十日）（朝鮮總督府遞信局聽取）

一、支那側野戰電報によれば、^{日本側は}八の兩日南昌南郊で豫軍に多大の死傷を蒙つた、即ち南昌の日本守備隊は最近日本内地より軍事訓練を施した約六百頭の猿を迎へ、支那軍擾亂のため夜に乗じて之等を支那側防禦線へ分遣したが、南昌西南郊で合流する贛江と撫水の岸で支那側の小銃により百餘頭が戦死した。軍事専門家によれば軍用猿はその鼻の敏感性により毒ガスを發見するのに利用されてゐることであるが、政府の中央通信は日本側が最早徵兵出來ないため富士山から猿軍を動員したのであるといふ説を主張してゐる。

二、内蒙をソ聯に對する特殊防共地域にするといふ日本側・汪協定の對策として國民政府は蒙藏問題の權威馬鶴天を「察哈爾各旗派遣特別委員」に任命し、北平の背後にある張家口を首府とする察哈爾盟の蒙古王、指導者間に反日運動を組織せしめることとした。察哈爾の蒙古人は近頃頻りに國民政府へのメツセーヂを寄せ、日本側の支配殊に内蒙の青年を徵募して外蒙との戦を準備せしめ、防共主義の下に彼等の兄弟を殺さしめんとしてゐる行動に對して不平を唱へてゐる。

三、イリノイ州西北大學卒業生で國民參政會員であり、日本側に殺された上海大學校長の寡婦